

計算書類に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

備品の減価償却は定率法による減価償却を実施している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、前払金、仮払金・前受会費、前受金、仮受金、預り金を含めている。

なお、前期末および当期末残高は下記の3に記載するとおりである。

2. 基本財産の増減および残高は次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増減額	当期末残高
定 期 預 金	100,502,857	0	100,502,857
合 計 (基本金)	100,502,857	0	100,502,857

3. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科 目	前期末残高	当期末残高
流動資産 (現金預金・前払金・仮払金)	23,497,751	31,374,433
流動負債 (前受金・前払金・預り金・未払金)	8,304,245	7,591,407
次期繰越収支差額	15,193,506	23,783,026

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額、および当期末残高は次の通りである。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
備 品	1,936,200	1,358,092	578,108
合 計	1,936,200	1,358,092	578,108